

中期目標の達成状況に関する評価結果

高エネルギー加速器研究機構

平成21年3月

独立行政法人大学評価・学位授与機構

I 研究に関する目標

1. 評価結果及び判断理由

【評価結果】 中期目標の達成状況がおおむね良好である

【判断理由】 「研究に関する目標」に係る中期目標（2項目）のうち、1項目が「良好」、1項目が「おおむね良好」であり、これらの結果を総合的に判断した。

2. 各中期目標の達成状況

(1) 研究水準及び研究の成果等に関する目標

【評価結果】 中期目標の達成状況が良好である

【判断理由】 「研究水準及び研究の成果等に関する目標」の下に定められている具体的な目標（4項目）のうち、1項目が「非常に優れている」、2項目が「良好」、1項目が「おおむね良好」であり、これらの結果に加え、学部・研究科等の現況分析における関連項目「研究活動の状況」「研究成果の状況」の結果も勘案して、総合的に判断した。

(2) 研究実施体制等の整備等に関する目標

【評価結果】 中期目標の達成状況がおおむね良好である

【判断理由】 「研究実施体制等の整備等に関する目標」の下に定められている具体的な目標（2項目）のすべてが「おおむね良好」であることから判断した。

3. 優れた点、改善を要する点、特色ある点

（優れた点）

- 中期計画で「様々な共同利用研究、機関間の協定に基づく共同研究、国際協定に基づく共同研究、その他各種制度に基づく共同研究等を研究の内容に沿って多様な形で推進する」としていることについて、当該機構では、高エネルギー物理の研究に加え、中性子、ミュオン等を利用する固体物理の研究において、機構外部の研究者の参画を積極的に取り入れたことは、優れていると判断される。

（特色ある点）

- 中期計画「機構では研究活動に関連する様々な分野での国際組織・国際機関の活動への協力も研究活動を推進する上で重要であるとの認識のもとに積極的に取り組む」について、当該機構における研究の国際的な協力体制をとる一方で、将来加速器国際

委員会（ICFA）等多数の海外の国際組織等へ積極的に参加、協力し実績を上げていることは、特色ある取組であると判断される。

II 共同利用等に関する目標

1. 評価結果及び判断理由

【評価結果】 中期目標の達成状況がおおむね良好である

【判断理由】 「共同利用等に関する目標」に係る中期目標（3項目）のうち、1項目が「良好」、2項目が「おおむね良好」であり、これらの結果を総合的に判断した。

2. 各中期目標の達成状況

(1) 共同利用等の内容・水準に関する目標

【評価結果】 中期目標の達成状況が良好である

【判断理由】 「共同利用等の内容・水準に関する目標」の下に定められている具体的な目標（2項目）のすべてが「良好」であり、これらの結果に加え、学部・研究科等の現況分析における関連項目「研究活動の状況」「研究成果の状況」の結果も勘案して、総合的に判断した。

(2) 共同利用等の実施体制等に関する目標

【評価結果】 中期目標の達成状況がおおむね良好である

【判断理由】 「共同利用等の実施体制等に関する目標」の下に定められている具体的な目標（3項目）のうち、1項目が「良好」、2項目が「おおむね良好」であり、これらの結果を総合的に判断した。

(3) 共同利用に関するその他の目標

【評価結果】 中期目標の達成状況がおおむね良好である

【判断理由】 「共同利用に関するその他の目標」の下に定められている具体的な目標（1項目）が「おおむね良好」であることから判断した。

3. 優れた点、改善を要する点、特色ある点

（優れた点）

- 中期計画「B ファクトリーでの共同利用実験」について、多数の外部研究者が共同

利用しており、研究の高度化に必要な加速器の性能向上に多大の努力を傾け、ルミノシティーで世界記録を達成し、小林・益川理論の精密な検証を可能にしたことは、共同利用者の研究の支援に大きく貢献した点で、優れていると判断される。

III 教育に関する目標

1. 評価結果及び判断理由

【評価結果】 中期目標の達成状況がおおむね良好である

【判断理由】 「教育に関する目標」に係る中期目標（2項目）のすべてが「おおむね良好」であることから判断した。

2. 各中期目標の達成状況

(1) 大学院への教育協力に関する目標

【評価結果】 中期目標の達成状況がおおむね良好である

【判断理由】 「大学院への教育協力に関する目標」の下に定められている具体的な目標（2項目）のうち、1項目が「良好」、1項目が「おおむね良好」であり、これらの結果を総合的に判断した。

(2) 人材養成に関する目標

【評価結果】 中期目標の達成状況がおおむね良好である

【判断理由】 「人材養成に関する目標」の下に定められている具体的な目標（1項目）が「おおむね良好」であることから判断した。

3. 優れた点、改善を要する点、特色ある点

(優れた点)

- 中期計画「大学と共同で、学生等の実習制度について検討を行う」について、大学と共同で行う学生のための実習として、学部3年生を対象に素粒子・原子核スクール（サマーチャレンジ）を開催し、99名の参加を得て大きな成果を上げたことは、この分野の後継者養成に資するところ大であり、参加者の満足度も十分であった点で、優れていると判断される。

IV その他の目標

(1) 社会との連携、国際交流等に関する目標

1. 評価結果及び判断理由

【評価結果】 中期目標の達成状況が良好である

【判断理由】 「社会との連携、国際交流等に関する目標」に係る中期目標（1項目）が「良好」であることから判断した。

2. 各中期目標の達成状況

(1) 社会との連携、国際交流等に関する目標

[評価結果] 中期目標の達成状況が良好である

[判断理由] 「社会との連携、国際交流等に関する目標」の下に定められている具体的な目標（2項目）のすべてが「良好」であることから判断した。

3. 優れた点、改善を要する点、特色ある点

(優れた点)

- 中期計画「一般公開・公開講座やホームページ上での機構の研究活動のわかりやすい紹介等の活動を通じて、機構の活動を広く社会に公表する」について、当該機構の対外広報活動は、極めて活発であり、ウェブサイト、一般公開、公開講座、報道、ビデオ作成等、利用できる手段を全面的に活用し、概して一般社会から遊離しがちなこの分野の研究に多額の国費を投入する意義についての理解を深めたことは、優れていると判断される。